

令和3(2021)年 10月 19日

報道機関各位

足利市制100周年記念特別展 予約受付について

教育委員会事務局 文化課

1 趣 旨

足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美ーその命脈は永遠にー」における予約受付方法について、以下のとおりお知らせいたします。

2 予約受付開始日

①令和3(2021)年12月3日(金) 正午から(2/11~2/28 観覧分)

②令和4(2022)年 1月7日(金) 正午から(3/ 1~3/13 観覧分)

③令和4(2022)年 2月4日(金) 正午から(3/15~3/27 観覧分)

多くの方々に鑑賞していただけるように、予約受付を段階的に開始いたします。

3 予約枠

40人/30分

4 予約方法

インターネット(特別展専用予約サイト)

5 予約制限等

- ・1予約につき、4名まで予約可
- ・1予約者につき、1件/日まで予約可
- ・1予約につき、4冊まで図録の予約可

6 入場等について

- ・鑑賞時間は60分程度とし、時間内での退館をお願いします。
- ・混雑状況等により、当日の入場者数を変更する場合があります。

7 今後の予定

令和3(2021)年10月20日(水) 市美ホームページ、特別展Twitterで公表
12月初 あしかがみ、特別展チラシ等にて公表

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
文化課	課長	柏瀬美奈子	館長	片柳 孝夫	0284-43-3131

令和3年10月20日

報道関係機関 各位

市制100周年記念特別展
「足利学校打の刀剣」の開催について

標記の件につきまして、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1 概 要

足利学校は、わが国唯一の公開学校として戦国時代に最盛期となり、全国から多くの学徒が集まりました。当時は儒学を中心とした学問を教えるとともに、医学や兵学などの実学も教えていました。日向国（宮崎県）出身の国広が「足利学校打」の刀を打ったように、足利学校は、戦国武将や軍師が憧れる場でした。その後、江戸時代になっても足利学校の名声は続きました。「足利学校打」の刀剣もブランド化して、ふたたび打たれるようになりました。本展では、このような経緯をたどった「足利学校打」の刀剣を紹介するとともに、その歴史や意義をやさしく解説します。

2 展示期間

令和4(2022)年2月11日（金）～3月27日（日）

3 会 場

史跡足利学校 遺蹟図書館

4 内 容

(1) 国広と足利学校

国広が足利に来た頃、足利学校の庠主（校長先生）は、日向国出身の宗銀や肥前国出身の三要でした。足利学校は、九州出身者との深いつながりができていたのです。天正18年（1590）「足利学校打」の銘がある布袋国広、当時領主であった長尾顕長のために打った山姥切国広が遺されています。

(2) その後の「足利学校打」

江戸時代になり平和な時代が続くと、足利学校は珍しい書籍と孔子廟をもつ名所旧跡として知られ、多くの人々が訪れました。刀剣は、実用品としてよりも美術工芸品として珍重されました。「足利学校打」の刀を鍛えた刀工として下坂継正と源景國がいます。彼らが打った「足利学校打」等の銘が入った刀剣を展示します。

5 主な展示品

- 刀 晴雲齋源景國（栃木県指定文化財） 足利市民文化財団蔵
- 脇指 越前住下坂継正（栃木県指定文化財） 足利市民文化財団蔵
- 刀 晴雲齋源景國（足利市指定文化財） 足利市蔵
- その他

6 主 催

足利市教育委員会事務局 史跡足利学校事務所

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
史跡足利学校事務所	参事	立野公克	主任	穴原佳典	0284-41-2655

令和3年10月20日

報道関係機関 各位

令和3年度足利市民文化財団所蔵品展の開催について

標記の件につきまして、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1 概要

本市にゆかりのある貴重な美術品・文化財等の保護及び保存を目的として収集した美術・工芸品を市立美術館に展示し、市民に広く鑑賞の機会を提供するとともに、美術品・文化財等についての理解と認識を深めることを目的に開催しています。

今回は、昨年度に続き展示の要望の多い刀剣と当財団が助成して作成した足利学校の釋奠祭器（複製品）を中心とした展示を行います。

2 展示期間

令和4(2022)年1月15日(土)～1月30日(日)

3 会場

足利市立美術館 第1展示室

(第2・第3展示室で、令和3年度足利市民文化祭優秀作品展・第14回足利展を同時開催、入場無料)

4 内容

(1) 刀剣

当財団所蔵で天正18年(1590)「足利学校打」の銘のある脇指にっしゅうじゅうしなののみくにひろさく日州住信濃守国廣作(号布袋国広・重要美術品)、「足利打」の銘のある脇指ほていくにひろ越前住下坂継正(江戸時代・栃木県有形文化財)、足利市所蔵の脇指たまき環みなもとときよまる(源清麿作・栃木県有形文化財)、「足利学校打」の銘のある刀せいうんさいかげくに晴雲齋景國(江戸時代末期)、刀やまののかみやすさだ大和守安定(江戸時代)などを展示します。

(2) 足利学校釋奠祭器（複製品）

釋奠^{せきてん}で使用されている祭器は、足利市重要文化財に指定されており、祭器の劣化を防止し恒久的な保存に努めるため、当財団及び（公財）東日本鉄道文化財団の助成により実物と同質・同製法により制作された複製品を展示します。

(3) その他

6月末で閉館した足利市民会館ゆかりの飯田善國、川島理一郎の絵画、市民会館の模型などを展示します。

5 主な展示品

- 脇指 日州住信濃守國廣作（堀川国広・重要美術品） 当財団蔵
- 脇指 越前住下坂継正（栃木県有形文化財） 当財団蔵
- 脇指 環（源清麿・栃木県有形文化財） 足利市蔵
- 刀 大和守安定 足利市蔵
- 足利学校釋奠祭器（複製品） 足利市蔵
- 絵画 飯田善國 矢場川風景 秋色 当財団蔵
- その他

6 主 催

公益財団法人足利市民文化財団

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
文化課	参事	柏瀬美奈子	主幹	齋藤和行	0284-20-2229